

中国地域の活断層の長期評価の公表にあたって  
(地震調査委員長見解)

- 地震調査委員会は、最新の地震調査研究の成果を随時取り入れながら、全国の主要な活断層の長期評価を行っている。「活断層の地域評価」はその一環として、地域の個別の活断層の長期評価を改訂するとともに、地域内の活断層を総合的に評価したものである。
- 活断層の地域評価は、個別の活断層の長期評価からは捉えることのできない、地域内の活断層の特性やそれによって引き起こされる地震の発生可能性がどの程度あるかの情報を提供する。地域住民や自治体の防災担当者の皆様には、自分の住む地域の活断層の存在とそれらの活動によって引き起こされる災害のリスクを改めて認識し、防災意識の向上を図っていただきたい。また、地域全体として効果的な地震防災・減災対策を進めるための基礎資料として本評価を活用していただきたい。
- 活断層で発生する地震は、個々の活断層に着目すると平均活動間隔が長いいため、発生の直前においても発生確率値自体は大きくはならない。一方、それらの集合として、地域内の震源断層によって引き起こされる地震の発生確率の視点で見れば、その値は海溝型地震と比べても決して低くはない。また、地震が発生すれば、活断層の近傍だけではなく地域の広い範囲で強い揺れに見舞われる恐れがある。これらを念頭に、建物の耐震化や家具の固定等、地震に対する備えをしていただきたい。
- 今回の地域評価に含まれる活断層については、今後数ヶ月程度をかけて、想定される地震が発生した場合の活断層周辺の揺れの強さの分布を予測する地図を作成し、随時公表を行っていく予定である。
- 地震調査委員会としては、地震発生確率のわかりやすい表現のあり方の検討など、地震防災・減災対策に資する地震調査研究の成果をはじめとする情報発信の改善に引き続き努めていく。